

令和3年度 調布市立第八中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
○自ら考え行動する生徒（知）○思いやりのある心豊かな生徒（徳）○心身ともにたくましい生徒（体）	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
『生徒一人一人が輝き、さわやかで気持ちのいい学校』づくりを目指す	
○「道徳的実践力」の育成・・・人権教育及び道徳教育を重視し、思いやりがあり心豊かな生徒を育成する。	
○「主体的課題解決力」の育成・・・主体的・対話的で深い学びを通して、自ら考え行動できる生徒を育成する。	
○「創造的行動力」の育成・・・学校行事・部活動・キャリア教育等を通して、心身ともにたくましい生徒を育成する。	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	<ul style="list-style-type: none"> ○現状 <ul style="list-style-type: none"> ・素直で素朴さを感じさせる生徒が多く、生活面の乱れはなく、学校生活は落ち着いている。学区外からの生徒が多く、全体の4割近くを占めている。地元の小学校になじめず、進学を機に本校を選択しており、不登校や特別な支援を必要とする傾向が強い。 ・保護者は、学校に対して協力的で、PTA活動も活発である。また、地域学校協働本部の活動がコーディネーターを中心に活発に行われている。特に土曜学習部では、指導内容や地域人材が充実している。 ○課題 <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある学校づくり（授業力の向上、確かな学力の定着、配慮を要する生徒への個別支援） ・インクルーシブ教育の推進（研究推進校2年次における取組、校内通級教室拠点校としての取組、指導スキルの向上） ・地域と連携した学校づくり（地域学校協働本部の活用と連携、土曜学習部の運営、各種検定の実施）

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	言語知識の定着に基づき、相手の理解を考慮した表現力と方策の構築、意見交流により他者の思案を評価できる理由を抽出した上で取り入れる再構成力、重要点を端的に総括し、具体例と根拠を明確に文章化する思考力を伸長させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テストなどを随時行い、基礎知識の定着を図る。 ・発問に対する意見や考えを他者と共有をして、再構成する手段を身に付けさせる。 ・小集団での意見交流と発表機会を多く設定し、聞き取る姿勢の育成と文章化して伝える過程を大切に、主体的な表現活動につなげる。 ・効果的な板書方法としてICT機器を利用する。 ・教科書の既習範囲の比較、様々な文章形態を扱い、書き手の意図、表現方法を理解して文章作成に取り入れさせる。
社会	社会的な見方・考え方を働かせながら、国際社会の抱える課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる態度を養うとともに、よりよい社会の形成に向けた社会的な基礎・基本となる知識技能と自分の考えを構築・説明できる思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な社会的事象や史資料の読解や考察の活動を通して、社会科の基礎・基本となる知識技能を定着させる。 ・ICTを活用して、写真や動画などの視覚的要素を授業に取り入れ、生徒の興味・関心を高めつつ、対話的活動を円滑に行うことで生徒の社会的な見方・考え方を養う。 ・単元見通シートを活用し、各分野、単元での学びの連続性を意識させるとともに、単元を貫く問いを設定して、様々な国際社会が抱える課題について考察する機会を設ける。
数学	数学的に考えることよさ(処理、実用性など)を実感し、様々な事象の考察や問題解決に数学を活用する、または活用しようとする態度を育成する。その上で、日常の事象や数学の事象を数理的に捉え、数学を活用して論理的に考察する力を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、数学に対する興味・関心を喚起する。 ・授業での課題や発問を精査し、課題解決までの見通しをもてる授業を行う。(めあての表記、ヒントカードの活用、机間指導の充実) ・1つの課題から発生する多様な考え方を、授業の中で他の生徒と共有する場面を設定し、数学のよさを実感させる。 ・新たな課題の発見を促すための、授業の振り返りを充実させる。(振り返りシートの活用)
理科	目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育成する。また、主体的・対話的で深い学びを目標に、科学的な思考力の育成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやレポートなどで考察やまとめを言語化するとともに、口頭や文章等で発表する機会を多く設ける。 ・3年間の理科の学習のつながりや他教科との関連、学習内容が実生活で生かされていることなどと関連させながら考えさせ、理解を深める。 ・ICT機器を活用し、視覚聴覚的にもイメージしやすい授業を行い、意欲関心を高める。

音楽	音楽表現や鑑賞を通して、音楽文化についての理解を深め、感性を高める。その音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようになる力を育成する。コロナ禍でも安全に注意しながら、できることを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等を活用し、主体的で深い学びを実現させる。 ・ICT機器を活用する等して、より理解が深まる教材づくりを行う。 ・学習の目標を明確にする。 ・音楽の技能や知識について基礎的な学習から指導する。
美術	「主体的課題解決能力」の育成のため、生徒が授業の中で得た知識を用いて生み出した課題を表現することを手助けしていく。問題を解決するための思考や手順を組み立て身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの課題を見つけ、学んだことを振り返りシート等を確認できるよう、手順や注意事項を記載したプリントを作る。 ・机間指導を充実させ、つまづきを感じてる生徒にこちらから話しかけ、質問しやすい環境を作る。 ・ICT機器を利用し、作品の見本や生徒作品を全体で共有する。そうすることで、生徒の思考力や表現力を深められるようにする。
保健体育	基礎的な技能の定着を図ること、授業の目的を毎時間ごとに説明し、知識の定着も図っていく。また、仲間との学び合いの中でコミュニケーション能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの活用により個人の課題を明確にすることで、次の授業の見通しを立て、継続的に取り組めるような授業展開をする。 ・ICT機器の活用により、自他の動きの分析をしたり、授業で説明したりする内容について、プリントなどで更に補充をしていく。 ・インクルーシブ教育の視点に沿った授業を行う。
技術・家庭	<p><技術> 「主体的課題解決力」の育成を目指し、対話的学びを取り入れた実習を展開する。また創造的行動力を育む観点から、生徒の個性を引き出しながら、物づくりに取り組む姿勢を育成する。</p> <p><家庭> 自立に向けて、知識や技能を身に付けながら、共生社会や持続可能な社会のために、何ができるか、考え、実践できる力を身につけさせる。</p>	<p><技術></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の個性を生かした設計製作を進める。 ・課題に直面した時に、学び合い学習なども取り入れながら、自ら解決できる方法を探らせる。 ・生徒端末を活用し、授業内でプログラミング等の学習を円滑に行えるようにする。 ・ICT機器を利用し、思考力や表現力が深まる教材開発を行う。 <p><家庭></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の学習目標を提示する。 ・小グループ活動を多く取り入れ、意見交換をしながら多様な考えがあることを学ぶ。実習では互い教え合う力を養う。 ・作品作りでは、見通しをもって作業に取り組めるように、ICT機器等を活用し、1時間の行程がわかるように提示する。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れず積極的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・情報や考えなどを理解するとともに、自分の考え・意見などを英語で伝える力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数授業を活かし、個に応じた指導を充実させるとともに、ペアやグループ活動を用いた学び合いにより、基礎力の定着を図る。 ・毎時間の授業における目標や授業プランを明確に示し、生徒が見通しをもって授業に臨めるよう授業の構造化を目指す。 ・言語活動ではICT機器を効果的に活用して言語の使用場面をわかりやすく提示するよう努め、実際に活用する場面を具体的にイメージさせるとともに、関心ある事柄や話題を扱うなどの工夫をする。 ・新たな課題の発見を促すための、授業の振り返りを充実させる。(振り返りシートの活用)
道徳科	思いやりがあり、心豊かな生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・多種・多様な教材を通して、人としての生き方を深く考えさせる。 ・小グループでの話し合いを通して意見を出しやすい環境を作り、自分の意見だけでなく他者の意見を共有できるようにする。 ・毎時間、また学期ごとの振り返りシートの記入により、自らの成長を実感し意欲の向上につなげる。